

令和4年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて、広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて、社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

1. 本部・総務部

令和4年度、本部においては、総務部人事の刷新に伴い、長きに亘り属人化し、旧態依然としていた各種業務処理のあり方からの脱却を図るとともに、各種社内制度を見直すことにより、なお一層の合理化・効率化を推進し、法人全体の運営改善に努める。また、未だに収束を見ない新型コロナウイルス感染症との共存の中で、役職員並びに関係者をはじめ、各施設における安全衛生管理の徹底に努めつつ、引き続き、法人の円滑な事業活動に資すべく、各事業所との情報共有・連携・協力をより強化し、全体を統括する。

2. 徳川美術館

令和3年度、徳川美術館においては、前年度に生じた新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の様な事態には至らず、感染防止のための様々な対策を講じながら、年度を通じて通常開館を継続することができた。しかしながら、来館者数は前年度（約6万人・通常年度比約70%減）に比し、一定の回復は見たものの、年度末時点でも10万人程度にとどまるものと見込まれ（通常年度比約50%減）、当初見込みの13万人は下回る見込みである。このような状況下、初めてクラウドファンディングによる寄附金募集を試みたことを始め、収益確保のための様々な施策を実施したところである。令和4年度計画においては、コロナ禍からの経済社会活動の回復が更に一定程度見込まれるものの、新規変異株のまん延もあり、広域に亘る団体観光旅行やインバウンドの集客回復には、なお時間を要するものと想定されることから、来館者数見込みを13万5千人と設定した。この来館者数見込みを基礎として、クラウドファンディングによる尊い寄附も有効活用するとともに、より一層の経費削減に努め、集客力ある展覧会・イベントの企画、また、物販事業の拡充等をはじめとする収益の拡大、積極的な寄附公募活動など、中長期に亘る持続的かつ安定的な文化財の保全を可能とするため、様々な方策を講じていく計画としている。

3. 徳川林政史研究所

令和4年度、徳川林政史研究所においては、所蔵史料の整理・研究・公開と併せて、引き続き、他機関所蔵の尾張藩関係史料等の調査・研究を推進する。尾張藩研究に関しては、第3代当主、徳川綱誠の事蹟編纂に着手するとともに、尾張家が将軍家に献上した贈答品を書き上げた「礼物軌式」の刊行に向け、準備を進める。林政史研究については、内木家所蔵史料調査の成果として、引き続き、尾張藩林政史の実態を解説したブックレットを編集・刊行する。教育・普及活動においては、例年通り、徳川美術館と連携した講座を予定しているが、コロナ禍の長期化を想定して、WEBによる講座開講も視野に入れる。また、在宅作業による業務効率化を図るとともに、若手研究者の育成活動に活用していく。

なお、各事業拠点における実施事業詳細については、次葉以降に記載のとおりである。

I.公益目的事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

(1) 展示・公開

① 名品コレクション展（第1～5展示室）

収蔵品中の名品を中心に、第1展示室では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、第2展示室では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、第3展示室では、香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、第4展示室では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々、名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。第5展示室では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年度内に計4回（4,7,9,1月）大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。また、第1展示室では、「名刀セレクション」、第5展示室では、「国宝 初音の調度」を順次、数点ずつシリーズで紹介する。第6展示室では、「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を行う。

② 特別展（第7～9展示室）

ア. 春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」

4月10日～5月22日

名古屋市蓬左文庫との特別展企画運営会・中日新聞社・日本経済新聞社共催

風景画の名手、歌川広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次之内」全55図に、各種東海道絵や各地の名所絵を加えて紹介。

イ. 特別展「名刀正宗と相模伝」

5月28日～7月18日

読売新聞社共催

相模国の刀工、正宗の刀剣の受容の歴史を紐解きながら、尾張徳川家に伝えられた、正宗と相模伝の名刀を一堂に展示。

ウ. 特別展「お宝のうら！なか！そこ！」

7月24日～9月11日

読売新聞社共催

通常の展覧会では目にする機会がない作品の裏側・内側を紹介するとともに、そこに施された仕掛けと意義を考え、また、展示の裏側として、大名家の道具の収納・保管方法も紹介。

エ. 秋季特別展「名物ー由緒正しき宝物ー」

9月17日～11月6日

名古屋市蓬左文庫との特別展企画運営会・中日新聞社・日本経済新聞社共催（予定）

茶の湯道具や刀剣などのうち、名の知られた由緒ある優品は、「名物」と呼ばれ貴ばれた。尾張徳川家の収蔵品を中心として、名だたる名物の数々とその展開をたどる。

オ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2月4日～4月2日

中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する、尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示。

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア. 企画展「大名の冠・婚・葬・祭」

5月28日～7月18日

誕生や成長、成人、結婚、長寿を祝う行事や葬儀など、大名家の人々が、人生の節目に行った冠婚葬祭について、尾張徳川家の伝来品を中心に紹介。

イ. 企画展「祭りの世界—仮装と風流—」

7月24日～9月11日

祭りは宗教的行事であり、人々の心躍る娯楽でもあった。江戸時代の祭礼図を中心に、見た目にも美しく、楽しげな仮装や出し物に着目し、その豊潤な世界を紹介。

ウ. 企画展「鷹狩」

11月12日～12月15日

飼い馴らした鷹を使って獲物を捕らえる鷹狩は、日本では古代から行われていた。鷹狩道具をはじめ、狩りに関わる人々や場にも焦点を当てつつ、鷹狩の世界を紐解く。

エ. 企画展「徳川文房博」

1月4日～1月29日

尾張徳川家に伝来した文房具を一堂に会し、文房で用いられた様々な道具と、大名文化における文房具の役割について紹介。

オ. 企画展「読み解き 近世の書状」

2月4日～4月2日

信長・秀吉・家康をはじめとする近世の人びとの書状を展示し、エピソードや書き手の人柄などを書状から読み解く。

④ 特別展示（第2・第5展示室）

11月19日～27日

特別公開「国宝 源氏物語絵巻」蓬生・柏木二（第5展示室）

2月18日～2月28日

特別公開「千利休 泪の茶杓」（第2展示室）

⑤ 特別観覧

ア. 一定の条件の下、コロナ禍の収束状況も確認しつつ、必要な感染防止対策を講じた上で、研究機関等による研究目的の特別観覧に応ずる。

イ. 前々年度及び前年度に開催を中止した「徳川茶会」を、10月9・10・15・16・22・23日（計6日間）に予定する。

⑥ 巡回展「大蒔絵展」（令和5年春季に予定）

(2) 修理・保存・収集

① 「国宝 初音蒔絵調度」書棚（七宝繫）・書棚（龍膽七宝繫）・「胡蝶蒔絵調度」書棚

ア. 国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）による修理

イ. （公財）住友財団「文化財維持・修復事業助成」による修理

② 能装束（白・納戸細格子と茶・花色・黄・赤・白横縞腰替熨斗目）

（公財）三菱財団「文化財修理事業助成」による修理

2. 調査・研究

(1) 学芸部における調査・研究

①館蔵品調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査、⑤幕末明治浮世絵の研究、⑥尾張藩御用絵師の研究、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑧尾張における画家の活動について—田中訥言を中心に—、⑨武家女性の生活史の研究、⑩尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について、⑪渡来織物の調査研究、⑫近世狩野派の研究、⑬戦国合戦図の総合的研究※、⑭戦国軍記・合戦図の史料学的研究※、⑮江戸初期絵画の研究、⑯尾張徳川家茶頭の研究、⑰尾張徳川家の仏教絵画の研究、⑱高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究※、⑲近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究※、⑳尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究

※ ⑬は、東京大学史料編纂所特定共同研究、⑭は、共立女子大共同科学研究、⑱は、奈良国立博物館共同

科学研究、⑱は、東京国立博物館共同科学研究として、文部科学省科学研究費の助成の下で実施予定。

- (2) 徳川林政史研究所との連携研究
 - ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
 - ② 尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究
 - ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進
- (3) 収蔵品データベースの構築
調書作成・入力、写真データ作成・入力、展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力、リスト・キャプションの作成、作品の写真撮影、作品情報のデータベース化等
- (4) 研究用図書類の整備
図書類の受入、整理および管理
- (5) 研究成果の公開・公刊
 - ① 定期研究発表会
11月（第80回）および2月（第81回）を予定。
 - ② 図録、研究紀要等
 - ア. 特別展図録の作成・頒布
秋季特別展「名物ー由緒正しき宝物ー」
※ 名古屋市蓬左文庫との特別展企画運営会作成の共同図録の作成・頒布。
 - イ. 英文リーフレットの作成
展覧会を紹介する英文リーフレットを適宜、作成・配布。
 - ウ. 『金鯰叢書』第50輯（『研究紀要』第57号）の編集・刊行
 - ③ 美術館だより「葵」（第122号～125号）を、年度内に計4回（4,7,9,1月）作成・配布。
- (6) 大名道具収蔵館研究会
当館を幹事館とし、研究会を実施。

3. 教育・普及

- (1) 記念講演会（無料）
春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」において予定
- (2) 秋季講座（有料）
秋季特別展「名物ー由緒正しき宝物ー」において予定
- (3) 土曜講座
 - ①北斎か、広重か（4月）、②広重の画業と風景画（5月）、③尾張徳川家の正宗・貞宗（6月）、④尾張徳川家の殿様になる（6月）、⑤仮装天国ー祭りの世界ー（8月）、⑥大名道具のウラ側（9月）、⑦名物とは何か？（10月）、⑧史料からひもとく尾張徳川家 その2ー鷹狩の世界ー（11月）、⑨文房四宝ー尾張徳川家に伝来した唐墨を中心にー（1月）、⑩なぜ、尾張徳川家は現在に美術品を伝えることに成功したのか（3月）
- (4) 刀剣講座
特別展「名刀正宗と相模伝」の会期中2日間に、2講座を開講する。
- (5) 徳川林政史研究所による古文書入門講座（土曜日午後開講）
6月・7月の間に、計6回、「幕末動乱のはじまり」をテーマに、シリーズで講座を開講する。
- (6) 徳川林政史研究所による江戸学講座（土曜日午後開講）
12月から2月の間に、計4回、研究所員を講師として実施する。
- (7) 博物館実習
11月・12月の間に、4日間実施する。
- (8) ボランティア向け展示説明会
- (9) 学芸員の推しトーク

各特別展・企画展において、学芸員が展覧会の見どころを紹介する。

- (10) 特別展・企画展関連企画
年度を通じ、展覧会準備検討会で検討し、展覧会に合わせた関連企画を実施する。また、関連する知識・情報等をパネル展示する。
- (11) 土曜子ども教室（小中学校の児童・生徒向け教育普及活動）
毎月テーマを決めて教室を開催する（なお、土曜日は、小・中・高校の児童・生徒の観覧料は無料）。
- (12) 夏休み子ども特別企画
ギャラリー・クイズ、歴史教室ほかを実施、ガイドブックを作成する（8月）。
- (13) 名刀シールラリー
年度を通じ、随時実施する。
- (14) 中高大の生徒・学生の職場体験受け入れ（インターンシップ）
- (15) 団体対応体験プログラム
- (16) 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け体験を含めた来館プログラム
- (17) 古美術相談会
年間を通じ、随時受け入れる。
- (18) 見学会
年間を通じ、1回程度実施する。
- (19) 出向・受嘱
大学・文化センター等からの講師、職務就任の依頼に基づき、教育・文化継承・社会貢献・広報等の観点から検討し、出講・受嘱する。
- (20) 協賛事業（外部事業）
 - ① 第101回名古屋市文化史教室（事業提携）
夏休み子ども歴史教室を名古屋市と共催する。
 - ② 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度

- (1) 賛助会会員向け優待
 - ① 年間の無料入館
 - ② 企画展・特別展内覧会の実施
各特別展・企画展の開催日前日に、賛助会員向け内覧会を開催（図録作成時は無料配布）
 - ③ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
 - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
 - ⑤ 懇親会開催
 - ⑥ 見学会（国内の史跡・他館特別展等）への会員優待
 - ⑦ 茶会特別観覧料金、ショップ商品等の割引
- (2) 友の会会員向け優待
 - ① 一般会員向け観覧料優待制度
 - ② 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布（一般会員・情報会員向け）
 - ③ 一般会員向けのショップ一部商品の割引
 - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
- (3) 大学メンバーシップ制度会員向け優待
 - ① 対象大学法人の学生（一部教職員を含む）の観覧料優待
 - ② 対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示
- (4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討
各カテゴリーの会員制度における会員数の拡充のための方策について、多様な観点から更に検討する。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における調査・研究

- ① 名古屋城の構造と儀礼に関する研究
- ② 尾張藩幕末維新史の研究
- ③ 近世の地域社会と森林利用に関する研究
- ④ 近世山村における生活文化に関する研究
- ⑤ 尾張徳川家とその家臣団の江戸屋敷に関する研究
- ⑥ 近世木曾山林業地域における材木商の存在形態
- ⑦ 江戸周辺地域における尾州鷹場の研究－鷹場領主論の視点から－

(2) 徳川美術館との連携における調査・研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する調査・研究
- ③ その他展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 調査・研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯨叢書』第50輯（『研究紀要』第57号）の編集・刊行
- ③ 史料調査の成果公開（ブックレット・翻刻史料集の刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査
 - ア. 岐阜県中津川市加子母地域
 - イ. 金沢市立玉川図書館近世史料館
 - ウ. 岐阜県可児市木曾古文書館
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
 - ア. （公財）犬山城白帝文庫
 - イ. 国立公文書館
 - ウ. 国文学研究資料館
- ③ 収集史料データの整理および公開のための基礎作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、（公財）犬山城白帝文庫、（公財）徳川記念財団の他、国立公文書館・国文学研究資料館他の資料保存機関、大学・学会と連携・協力し、調査・研究を実施する。

2. 史料・図書 of 整理

(1) 所蔵史料の整理（史料整理及び目録作成）

徳川林政史研究所収集史料、旧名古屋税務監督局所蔵史料、信濃国木曾史料、信濃国諸地域史料、三河国各郡史料、美濃国各郡史料、他

(2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯨叢書』第50輯（『研究紀要』第57号）に掲載）

- ① 尾張徳川家文書目録（19）
- ② 石河家文書目録（15）
- ③ その他

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

- ① 所蔵史料データベースの構築

尾張徳川家文書、尾張国各郡史料、蟹江鈴木家文書、他

② 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開体制（ホームページ上検索システムの構築）の検討

(4) 史料のデジタルデータ化

所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真等のデジタルデータ化の促進

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

(7) 研究用図書 of 整理

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 徳川林政史研究所 公開講座（豊島区、全6回）

② 徳川林政史研究所 古文書入門講座（徳川美術館、全6回）

③ 徳川林政史研究所 江戸学講座（徳川美術館、全4回）

④ 史料調査と関連付けた講座・講演（中津川市加子母、1回）

⑤ （公財）上廣倫理財団助成事業関連の講座・講演（都内、1回）

(2) ホームページによる情報発信

① ホームページを活用した、尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及

② ホームページを利用した、情報発信の促進

(3) 出講・受嘱

① 出講

大東文化大学、学習院大学、学習院女子大学

② 受嘱

外部機関からの依頼に基づき、必要を判断の上、研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による、①研究会の開催、②史料整理・目録作成作業、③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修、④その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加を通じ、若手研究者の育成に努める。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日

(2) 史料出陳

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

(4) レファレンスへの対応

6. 事業評価委員会の開催

3月

Ⅱ.収益事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸事業（全6棟）を継続する。

[収益事業 2] ミュージアムショップ、収益性の高いイベントの実施、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

売上・収益の向上に向け、環境整備や商品拡充、コラボレーション企画のグッズ販売による収益拡大、SNSを活用した商品告知、オンラインショップ、通信販売事業会社と連携したイベントなど、外部での販売強化及び人材の育成等を図る。

2. 収益性の高いイベントの実施

休館日貸切開館、ナイトタイムイベント、美術館施設の貸出など、収益性のあるイベント等を実施する。

3. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

業務委託先との連携を強化しつつ、収益向上を図る。

Ⅲ.管理業務

[本部・総務部]

法人の円滑な事業推進、運営管理のため、徳川美術館、徳川林政史研究所の各事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

[徳川美術館]

1. 活動支援基金

- (1) 活動支援基金に係る管理事務
- (2) 寄附受け入れ拡充のための各種方策の検討

2. 補助金

- (1) 国庫補助金に係る交付申請および管理事務
- (2) 民間補助金に係る交付申請および管理事務
- (3) 文化庁補助事業
 - ① 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業について、関係当局等と協議しつつ、第3年度目の事業を実施する。
 - ② その他文化庁補助事業に参加する。

3. 観覧料金

- (1) 前売りペアチケットの販売
春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」、秋季特別展「名物ー由緒正しき宝物ー」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」の各展覧会を対象として、2,300円（税込、販売期間限定）のペアチケットを販売する。
- (2) オンラインチケットで前売券販売
前売券価格（一般200円引、その他100円引）として、外部チケットサイト（美術館ホームページからリンク）にて販売。

4. 広報

外部専門業者等と連携・実施してきた、WEBアクセス解析、来館者アンケート調査などのマーケティング結果に基づく戦略を策定し、誘致対象となる層への的確な広報を実行する。展覧会計画や教育普及プログラムと連携しつつ、WEB施策等の新しい広報手段の活用も視野に入れ、積極的かつ効果的な広報活動を推進する。若年層向けの企画実施や各種催事等のアピールを強化する。

5. 営業

高校修学旅行、国内旅行及びMICE誘致に注力した営業活動を強化する。

- (1) 個人向け旅行誘致や、個人向け需要獲得のための活動
 - ① （一社）愛知観光協会、（公財）名古屋観光コンベンションビューロー主催の営業セールス及びオンライン商談会の参加
 - ② WEBにおける情報発信や、魅力を伝えるコンテンツを強化（YouTube動画配信、ZOOM講座など）
 - ③ 市内宿泊施設、タクシー会社と相互連携し、タビナカ（旅の途中での観光）需要の獲得。
- (2) 高校修学旅行誘致のための活動
 - ① 国際社会におけるアイデンティティ教育を視野に、教育普及と連動した誘致のための活動を計画、実

施する（体験プログラムの拡充）

② 地域内で連携可能な他施設（名古屋港水族館など）と調整した訪問営業活動を実施する。

(3) 法人営業

① MICE 招致を推進する機関と連携し、法人・宿泊施設等へ向けた営業活動を推進する。

② 年間スケジュールや、集客率向上に効果的な展覧会の情報発信を継続する。

6. ボランティアの会運営

(1) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）を推進する。

(2) ボランティアの能力（スキル）向上のための研修会および見学会を実施する。

7. 徳川美術館運営懇話会（第 29 回）

9 月頃に開催予定。

8. 徳川園各施設との連携

(1) 月度連絡会議

(2) 徳川園調整会議（1 月下旬）

(3) ホームページ等 WEB 上における連携

(4) 徳川園各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。

9. 他の美術館・博物館との連携

大名道具収蔵館研究会、私立美術館会議、（公財）日本博物館協会・（一社）全国美術館会議・愛知県博物館協会等と連携する。

10. 施設・設備の営繕と保守点検

(1) 設備不具合等の緊急対応、中長期計画に基づく、施設・設備の修繕および更新を適切に実施する。

(2) 中長期計画に基づき、敷地内の庭園や茶室等の整備を適切に実施する。

(3) 美術館業務や来館者利便性向上に必要なシステム・機器の整備、環境を構築する。

11. 来館者対応強化

優れた人材の確保・育成により、顧客対応力を向上させ、来館者の満足度を一層高めることにより、来館者数向上を図る。

[徳川林政史研究所]

1. 補助金

(1) 国庫補助金（特定奨励費およびその他の科学研究費）に係る交付申請および管理事務

(2) 民間助成金（（公財）上廣倫理財団助成金、他）に係る交付申請および管理事務

2. 活動支援基金（活動支援基金に係る管理事務）

上記、[公益事業 2] 研究所の調査研究普及事業（徳川林政史研究所）2.(5)に記載